

インタビュー

4つの新規プロジェクトチームを
結成し、一般市場での
ビジネス拡大に注力

「IT」×「エネルギー」×「建築」の融合技術を強みに、一般市場でのビジネス拡大に注力するNTTファシリティーズ。本年4月、「環境・エネルギー」「BCP」「データセンター」の3つのビジネス分野に対する4つのプロジェクトチーム（PT）を新設し、積極的な提案・営業活動を全国的に展開している。4つのPTによる一般市場拡大に向けた取組みについて、森 勇社長にうかがった。

IT×エネルギー×建築のコア技術を融合
した総合エンジニアリング・サービス企業

——はじめに、御社の組織沿革と事業概要からお聞かせください。

森 NTTファシリティーズは、NTTの建築・電力・ビル管理の3つの部門が統合して1992年に設立された会社で、昨年12月には創立15周年を迎えました。100年以上にもわたり情報通信ネットワークを支える建物、電源、空調システムの企画から設計、建設、維持管理に至る幅広い業務を一貫して手がけてきました。

こうした実績を活かし、弊社は「IT」×「エネルギー」×「建築」の3つのコア技術を融合した総合エンジニアリング・サービスを展開しています。具体的には、情報通信を支える建物、高信頼電源・空調システムからクリーンエネルギー発電システム、さらには、オフィスビル、病院・大学などの施設・設備を対象に、最適なファシリティソリューションをお客様に提供しています。

——これまでの事業展開が外部からも高い評価を受けているとお聞きしています。

森 1997～2006年の10年間でTPR（トータルパワーレポリューション）運動を通じてNTTグループの電力消費量を15%削減、金額にして約100億円の省エネ効果を実現し、2002年に省エネルギー優秀事例全国大会で資源エネルギー庁長官賞を受賞しました。また、一例としてNGNの構築においてイニシャル、ランニングコスト双方で15%のコスト削減を達成した高効率空調システム「ACORDIS」が2006年に「日本建築学会賞技術賞」、ヒートアイランド対策の屋上サツマイモ栽培システム「グリーンポテト」で2007年に「日本エコプロダクツ大賞農林水産大臣賞」を受賞しています。

コア技術を活用しNTTグループへの
貢献と一般市場拡大を図る

——御社の特長・強みはどこにあるとお考えですか。

森 まず、弊社の特長として、トップクラスの資格保有者を抱えた技術者



（株）NTTファシリティーズ
代表取締役社長

森 勇氏

集団であることが挙げられます。現在、ファシリティーズグループの社員数は約5,600名ですが、延べ有資格者数は約2万人にも達します。中でも、一級建築士：約700名、CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）評価員：約200名、電気主任技術者約2,000名は日本でトップクラスです。そして、弊社の最大の強みは多数の技術者に支えられる「IT」×「エネルギー」×「建築」の技術融合分野で幅広いファシリティの企画から構築・維持管理という一連の業務を「ワンストップ」で提供できる点です。この一貫したサービスサイクルが、低コストで高品質なファシリティの実現に大きく貢献するのです。

——今後の事業展開の基本方針をお教え下さい。

森 弊社はNTTグループの安心・安全なネットワークサービスの提供に向け、高信頼・高効率なファシリティを低コストで構築・運用することで貢献していきたいと考えていま

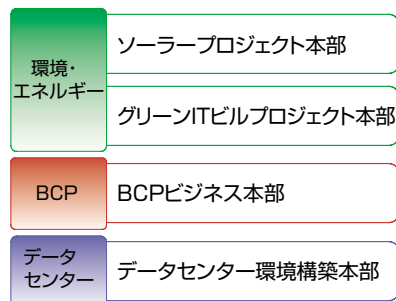


図1 3つのビジネス分野に対する
4つの新規プロジェクト組織

す。さらに、NTTで培った技術をベースに、NTTグループ以外の一般市場のお客様へも積極的に展開し、広くお客様の企業価値向上に貢献していきたいと考えています。

社長直轄の4つの新規プロジェクト組織を設置し営業体制を強化

——一般市場拡大に向け、どのような施策を展開していますか。

森 本年4月、一般市場拡大に向け、弊社の強みの「IT」×「エネルギー」×「建築」の融合技術が活かせる3つのビジネス分野（環境・エネルギー、BCP、データセンター）に対する4つの新規プロジェクト組織（PT）を社長直轄組織として設置しました。具体的には、役員を責任者とした「ソーラープロジェクト本部」、「グリーンITビルプロジェクト本部」、「BCPビジネス本部」及び、昨年7月に設置した「データセンター環境構築本部」になります。

この4つのPTにより、提案・営業体制の強化を図り、お客様の経営課題にお応えする最適なソリューションを提供して参ります。

——各PTのビジネス展開のポイントについてお聞かせください。



写真1 NEDO技術開発機構委託事業「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究」の北杜サイト完成運用式で、テープカットを行う森社長（中央）。右は、NEDO新エネルギー技術開発部 福田 秀樹部長。左は、白倉 政司 北杜市長。

森 ソーラープロジェクト本部は、私どもが長野県佐久市、高知県、さらには山梨県北杜市で展開中の大規模太陽光発電事業及び実証研究の成果を基に、大規模太陽光発電における事業スキーム立案からシステム構築に至るまでの“総合プロデュース力”を活かした事業展開で、地球温暖化の防止に貢献していきます。

グリーンITビルプロジェクト本部は、NTTグループの「建物グリーン設計ガイドライン」に基づく建物設計やTPR運動による省エネ活動の実績、CASBEE評価員数国内トップという強みを活かし、GREEN技術（環境配慮・フレキシビリティ・省エネルギー）とBCP技術（安全性・信頼性）をITで結合し、効果を定量化したソリューションを提案することで、環境負荷の少ない建物の構築・リニューアル・コンバージョン（建物用途変更）等を実現します。

BCPビジネス本部は、通信施設の構築・保守・運用・改善を100年以上にわたり実践してきた経験と“総合信頼度設計・システム化技術”を強みに、企業経営におけるビジネス影響度分析（BIA：Business Impact Analysis）やディザスター影響度分析（Disaster Impact Analysis）、方針策定、建物・ライ

フラインの優先復旧等の各種コンサルティングから地震・停電・発熱・雷害・水害・火災・セキュリティ等に対する具体的な対策・ソリューションを提供しています。また、NTTグループの総合力を活かすことでファシリティから情報システムまで、ワンストップで提供し、お客様の事業継続に貢献します。

データセンター環境構築本部は、国内のデータセンター環境構築関連事業の30%以上に携わってきた実績をベースに、高効率空調システムや気流設計技術、直流給電システムのエンジニアリング技術等の強みを活かし、省エネルギーかつ高信頼な次世代データセンターの環境構築、運用・保守サービスを提供します。

——最後に、今後の抱負をお聞かせください。

森 弊社を取り巻く事業環境は大変厳しいものがありますが、一般市場の売上げ比率を現在の2割強から3年後に3分の1にまで拡大することを目標として、今後もお客様に高い付加価値を提供し続けることができるようファシリティーズグループを明るく、楽しく、活力あふれる会社にしていきたいと考えています。

——本日は有り難うございました。

（聞き手・構成：編集長 河西義人）